

平成24年度 WEC応用生態研究助成 審査結果

平成24年度 WEC応用生態研究助成の募集には、35件の応募をいただきました。多数の方に応募していただきましたことに厚く御礼申し上げます。厳選なる審査の結果、下記の5件を助成研究として採択しましたので、お知らせ致します。
また昨年度、採択しました研究は今年も助成を継続することとなりました。

平成24年度 WEC応用生態研究助成 採択研究

助成番号	研究テーマ	申請者		助成年度数
		氏名	所属	
2012-01	ダム放流量操作が特定外来生物カワハバリガイの繁殖に与える影響	馬場 孝	滋賀県立大学 大学院 環境科学研究科 環境動態学専攻	1 新規
2012-02	環境DNAをもちいた魚類相解析による河川横断工作物の生態学的影響評価法の確立	山中 裕樹	龍谷大学 理工学部	1 新規
2012-03	ダムによる下流河川への影響は、流程に沿ってどのように変化するか？ 河床および瀬・淵構造と付着藻類に注目して	森 照貴	独立行政法人 土木研究所 自然共生研究センター	2 新規
2012-04	河川流況と砂州物理環境の特徴およびその変動・持続性に関する研究	溝口 敦子	名城大学 理工学部	2 新規
2012-05	河口堰がニホンウナギに与える影響の評価と解決策の検討	海部 健三	東京大学 大学院 農学生命科学研究科	2 新規

平成23年度 WEC応用生態研究助成 採択研究

助成番号	研究テーマ	申請者		助成年度数
		氏名	所属	
2011-01	ダム排砂を伴う礫河川における河床および河畔植生での細砂捕捉特性に関する研究	尾花 まき子	名古屋大学 大学院 工学研究科	1 終了
2011-02	ダム下流域での樹林化が繁殖期の鳥類群集に及ぼす影響について	数原 佑樹	北海道大学 大学院 農学院	1 終了
2011-03	ダム湖への窒素流入量推定の精度向上に関する研究	尾坂 兼一	滋賀県立大学 環境科学部	2 継続
2011-04	ダム湛水域による流入支流群集・個体群への影響評価:撤去される荒瀬ダムの事前評価として	鬼倉 徳雄	九州大学 大学院 農学研究院 資源生物学部門	2 継続
2011-05	微量金属の動態に基づくダム湖生態系評価	藤井 学	東京工業大学 大学院 理工学研究科 土工学専攻	2 継続

平成22年度 WEC応用生態研究助成 採択研究

助成番号	研究テーマ	申請者		助成年度数
		氏名	所属	
2010-01	河川構造物と個体群の遺伝的多様性—ヨシノボリ属魚類の適応—	高木 基裕	愛媛大学 南予水産研究センター 農学部分室	1 終了
2010-02	小洪ダム下流域河川敷に生育する絶滅危惧種ツツザキヤマジノギクの遺伝的多様性とダム放水の関係性の解明	中川 さやか	東京大学 大学院総合文化研究科・広域システム科学系	1 終了
2010-03	ダム湖におけるウチダザリガニ駆除及び下流におけるニホンザリガニの保全に関する研究	山田 浩行	パンフィックコンサルタンツ株式会社 北海道支社 水工・環境部	1 終了
2010-04	生活史特性の違いによってダムの影響はどのように異なるか？生態的・遺伝的影響評価	小泉 逸郎	北海道大学 創成研究機構	2 終了
2010-05	ダムによって隔離された絶滅危惧種ケショウヤナギ集団における花粉と種子の散布様式	永光 輝義	独立行政法人 森林総合研究所 北海道支所	2 終了

平成21年度 WEC応用生態研究助成 採択研究

助成番号	研究テーマ	申請者		助成年度数
		氏名	所属	
2009-01	ダム湖上流河川と近隣河川間におけるカワゲラ類の遺伝的交流の解明	大槻 章子	北海道大学 大学院農学研究院	1 終了
2009-02	底生魚の生息場所に配慮した土砂還元手法開発に資する、底生魚トウヨシノボリによる礫土砂選択性の検証	奥田 千賀子	名古屋大学 大学院工学研究科 社会基盤工学専攻	1 終了
2009-03	ダム排砂が下流河道の地形・植生繁茂に与える影響に関する研究～矢作ダム下流域を対象として～	戸田 祐嗣	名古屋大学 大学院工学研究科 社会基盤工学専攻	1 終了
2009-04	酸性温泉由来の有害元素のダム湖による拡散防止効果と下流域の生態系への影響の調査	小川 泰正	東北大学 大学院環境科学研究科	2 終了
2009-05	低価格帯スキャンナー搭載魚群探知機の水生植物モニタリングへの適用とその課題	山田 浩之	北海道大学 大学院農学研究院 農林環境情報学研究室	2 終了
2009-06	ダム湖周辺域への国内外来魚の侵入・定着に関する遺伝学的手法を用いた影響評価と監視手法	渡辺 勝敏	京都大学 大学院理学研究科	2 終了

平成20年度 WEC応用生態研究助成 採択研究

助成番号	研究テーマ	申請者		助成年度数
		氏名	所属	
2008-01	ダム設置河川におけるサケ科魚類スクラムスの分子生態学的研究	北西 滋	北海道大学 大学院地球環境科学研究院	1 終了
2008-02	堰き止め型貯水池の連結性が水生植物の多様性および群集構造に与える影響の評価	赤坂 宗光	独立行政法人 国立環境研究所	2 終了
2008-03	土砂還元を伴うフラッシュ放流によるダム下流域の河床藻類繁茂の制御法に関する研究	赤松 良久	琉球大学 工学部環境建設工学科	2 終了
2008-04	貯水ダムによる流域分断がヒメヒラタカゲロウの遺伝的交流に及ぼす影響:DNA多型マーカーによる解析	加藤 幹男	大阪府立大学 大学院理学系研究科	2 終了
2008-05	流域の地質構成からみた貯水池の堆砂管理に資する土砂生産機構とその生態的影響	田代 喬	名古屋大学 大学院工学研究科社会基盤工学専攻	2 終了
2008-06	ヒゲナガケンミジンコの種間交雑の場としてのダム湖の重要性	牧野 渡	東北大学 大学院生命科学研究科	2 終了

平成19年度 WEC応用生態研究助成 採択研究

助成番号	研究テーマ	申請者		助成年度数
		氏名	所属	
2007-01	札内川ダムにおける流量調節が河畔林とその立地環境へ及ぼす影響について	高橋 まゆみ	北海道大学大学院農学院	1 終了
2007-02	ダムから流下した土砂と有機物がダム下流に生息する水生昆虫と魚類に与える複合的影響の解明	河内 香織* 知花 武佳*	埼玉大学 大学院理工学研究科 東京大学 大学院工学系研究科	2 終了
2007-03	ダム貯水池集水域の源流部における窒素流出機構の解明	対馬 孝治	豊橋技術科学大学 建築工学科	2 終了
2007-04	湛水・運用開始期にある徳山ダムの微細有機物による河川生態影響評価	吉村 千洋	東京工業大学大学院理工学研究科	3 終了
2007-05	ダム貯水池における水位操作と人工産卵床を利用した特定外来魚の生息抑制に関する研究	中井 克樹	滋賀県立琵琶湖博物館 研究部 生態学研究領域	3 終了

*研究代表者の変更: 1年目まで河内、2年目より知花。

平成18年度 WEC応用生態研究助成 採択研究

助成番号	研究テーマ	申請者		助成年度数
		氏名	所属	
2006-01	ダム下流の河川生態系に対するダム湖由来のプランクトンの影響	平 祥和	大阪府立大学 大学院理学系研究科 生態・系統研究室	1 終了
2006-02	摺上川ダム建設後における底生動物モニタリング及びダムが底生動物に及ぼす影響の解明	塘 忠顕	福島大学 理工学群共生システム理工学類	1 終了
2006-03	7.13水害ならびに中越地震によって大被害を受けた刈谷田川ダム下流部の陸水生物相回復過程に関する研究	松本 史郎	新潟河川生態研究グループ	2 終了
2006-04	ダム下流支川による、河川生物群集の種多様性と遺伝的多様性の維持機構	片野 泉	独立行政法人 土木研究所 自然共生研究センター	2* 終了
2006-05	ダム湖を生息場所として利用するアユの分子生態特性	武島 弘彦	東京大学海洋研究所 分子海洋科学分野	2 終了

*期間延長。(2009年3月終了)

平成17年度 WEC応用生態研究助成 採択研究

助成番号	研究テーマ	申請者		助成年度数
		氏名	所属	
2005-01	流量変動が河床の礫挙動に及ぼす効果: ダム放流量と下流河床微生息場所の関連性の予見	小野田 幸生	京都大学生態学研究センター	1 終了
2005-02	河川生物の生理生態を基準としたダム下流の正常流量	東 信行	弘前大学 農学生命科学部	2 終了
2005-03	ダム湖から放出される温室効果気体のフラックスモニタリングと湖内における生成・循環過程の解明	岩田 智也	山梨大学大学院医学工学総合研究部	2 終了
2005-04	ダム建設河川に生息するヒゲナガカワビケラの遺伝的多様性調査	林 義雄	大阪府立大学 理学系研究科	2 終了
2005-05	清水バイパスがダム下流の河川環境に果たす役割の検討	河口 洋一	九州大学大学院工学研究院環境都市部門都市環境工学講座	3 終了

※助成が終了した研究は、研究成果の概要書をPDFファイルで公開しております。

(2012年5月現在、ただし所属は研究助成最終年時)